

建設経済新聞第1面

C I C 新試験制度対応講座 申し込み開始

日本建設情報センター(C I C、東京都港区)は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。



通信講座の受講イメージ

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「一技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。

滋賀産業新聞第6面

施工管理の新試験制度対応講座

C I C 申込み受付中

日本建設情報センター(C I C、東京都港区)は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

業界だより

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」

だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「一技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。



通信講座の受講イメージ

建設工業新聞第2面

C I C

新試験制度対応講座 申し込み開始

日本建設情報センター(C I C、東京都港区)は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。



通信講座の受講イメージ

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の合格で「一技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。

日刊建設タイムズ第3面

通信講座の受講イメージ



日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施

CIC/新試験制度対応講座 申し込み受け付け中

工管理技士の申し込みを受け付けている。
これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。
同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化する予想。「一次検定」の資格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。

群馬建設新聞第2面

新試験制度対応講座申し込み開始

C I C

日本建設情報センター（C I C、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップ。通学講座の他、いつでもどこでも学習できる映像通信講座が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施する。

同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化すると予想。「一次検定」の資格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。

通信講座の受講イメージ



北海道建設新聞第4面



C I C 新試験へ対応講座開催
21年度から施工管理技術検定改正
日本建設情報センター（C I C、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制

度を改正されることを踏まえ、新試験制度に対応した講座を開講する。他の科目に先がけ、建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。
同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化する予想。「一次検定」の資格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容としている。（企画記事）

福島建設工業新聞第2面

建築、電気を受付開始

日本建設情報センター

施工管理技術検定 新試験対応の対策講座

日本建設情報センター（C I C、東京都港区）は、2021年度から施工管理技術検定の試験制度が改正されることを踏まえ、新試験制度

に対応した受験対策講座を開講する。先行して建築施工管理技士と電気工事施工管理技士の申し込みを受け付けている。

これまで培ってきたノウハウを生かし、資格試験を熟知した講師・スタッフが受講生の合格をバックアップする。通学講座のほか、時間や場所を選ばずに、いつでもどこでも学習できる「映像通信講座」が好評という。また例年通り、受講生への願書配布無料サービスも実施している。
同社は、新試験制度でこれまで「学科」「実地」だった試験名称が「一次」「二次」となることに伴い、一部の出題形式も変更されて試験が難化する予想。「一次検定」の資格で「技士補」の資格が得られる点もポイントになると見ており、これらも考慮した講座内容となっている。

通信講座の受講イメージ

